

教科目名 都市計画 (City Planning)

学科名・学年 : 都市システム工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期2コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 亀野辰三

授業の概要			
<p>近年、都市計画は「まちづくりとは、住むための良い環境をつくるもの」という環境重視の観点が強く要請されている。そこで、本講義では、前半には従来と同じく、都市論や土地利用計画等の都市計画法を中心に解説する。後半は、近年導入が進んでいる環境重視の「地区計画」や「建築協定」を詳述したい。また、都市計画法と並んで重要な建築基準法の考え方を講述したい。都市施設では、公園緑地等を取り上げ、その仕組みや整備方法について解説する。</p> <p>都市計画は社会経済や日常生活と密接な関係を有していることから、レポート作成により都市計画的な見方、考え方を身につけることを重視している。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(d1)(g)	
<p>(1) 都市問題や都市計画に関する基礎理論が理解できる。(定期試験)</p> <p>(2) 都市計画的な見方、考え方を養うとともに、日常生活との関わりについて理解できる。(レポート)</p> <p>(3) 自主的、継続的に学習できる能力を養成する。(レポート)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 総論	都市の定義について学ぶ。	【理解の度合い】
2	(1)都市とは	古代～近世～現代の都市に至る都市の歴史	
3	(2)都市の歴史	について理解する。	
4	(3)都市構造論	代表的な都市構造論について学ぶ。	
5	2. 土地利用計画	市街化区域と市街化調整区域について理解	
6	(1)都市計画区域・地域地区	する。	
7	(2)用途地域	「用途地域」の役割を理解する。	
8	(3)その他の地域地区	補助的地域地区について学ぶ。	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
9	(4)演習		
10	前期中間試験		
10	前期中間試験の解答と解説	わからなかった部分を理解し、地区計画について学ぶ。	
11	(4)地区計画	地区計画・建築協定の現地視察	
12	(5)建築協定	建築協定を理解する。	
13	3. 建築基準法	建ぺい率を理解する。	
14	(1)建ぺい率	容積率を理解する。	
15	(2)容積率	土地地区画整理事業のしくみを理解する	【試験の点数】 点
16	4. 市街地整備事業	現地視察	
17	(1)土地地区画整理事業	市街地再開発事業のしくみを理解する。	
18	(2)市街地再開発事業	都市施設の概要を学ぶ。	
19	5. 都市施設	公園緑地の種類や機能について学ぶ。	
20	(1)公園緑地	これまでの総復習で全体像を把握する。	
21	6. 復習/演習		
22	前期期末試験		【試験の点数】 点
23	前期期末試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する	
履修上の注意	夏休みを利用して都市計画に関係するレポートを課すので、学生は日頃から新聞等に目を通し、時事に関する最低限の常識は自ら身につけること。		【総合達成度】
教科書	石井・湯沢・亀野他共著、『最新 都市計画第3版』, 森北出版		
参考図書	日本まちづくり協会編、『地域の計画・まちづくり』, 技術書院		
関連科目	公園緑地計画, 環境計画, 景観デザイン(専攻科), 地域計画学(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)～(3)について定期試験とレポートで評価する。 総合評価=0.7×(2回の定期試験の平均)+0.3×(レポート) 総合評価が60点以上を合格とする。		